

「授業中の教師の言葉かけや動き(ふるまい)」について考える

【小学校】初任者研修に係る校外研修「授業参観」 令和5年9月7日 【日田教育事務所】

◆◆要旨◆◆ 初任者研修「授業参観(小学校)」(管内小学校初任者、市町教育委員会、教育事務所)

○目的

令和5年度初任者研修の対象者に対し、授業参観及び授業づくりに係る研究協議を通して、実践的指導力の向上に資する。

○授業参観及び協議の視点

授業中の効果的な教師の言葉かけや動き(ふるまい)について

◆◆開会行事より◆◆

- ・『子どもを見る』とはどういうことか。
- ・目の前の子どもの実態を大切にするとともに、大局的な教育観も育みましょう。
→5年後、10年後、20年後の社会のありよう
→今の子どもたちが、学校教育に望んでいること

授業の概要

受講者の学び(「アンケート」より)

- ◆算数科 小学校第5学年
- ◆単元名 「分数と小数、整数の関係調べよう」

<全6時間>

◆本時のねらい <第1時>

「整数÷整数の商の表し方について、3年生で学習した『等分』の考え方を活用することをとおして、分数でも表せることを理解できるようにする。」
(知・技)

【問題】・2lのジュースを3人で分けると一人分は何lになるかな

【課題】・整数÷整数で割り切れないときは、答えをどう表せばよいか

【まとめ】・分数で表せばよい

<子どもの発言やつぶやきを大切に>

- 正解につながるつぶやきだけでなく、間違っている場合でも、その声を拾い、新たな気づきや考え方につないでいた。是非、まねしたい。
- 子どもから出された言葉で「課題」や「まとめ」を作り上げていく。子どもの言葉をそのまま写すのではなく、何度もやりとりしながら、よりよい表現にすることが大事。

<言葉かけの効果>

- 自己肯定感が高まる言葉かけ
⇒「なるほど」
「そうそう同じ考えの人がいるよ」
- 思考を進める、深める言葉かけ
⇒「本当に？」
「△△じゃなくてもいいのね？」
「確かめてみる？」

<一人一人をしっかり目視>

- 理解が追いついていない子どもがいなかったか、意図を持って一人一人をしっかり目視している授業者の姿が印象的だった。
だからこそ、子どものつぶやきを拾いつなげたり、個に応じたヒントカードの提示ができたこととわかった。
- 授業計画通りではなく、目の前の子どもの状況に合わせて計画を柔軟に変更していくことが大切だと実感した。
- できる限り教師の発言を減らし、子どもが発言しやすい問い方や話し方をしていきたい。

★★素晴らしい初任者の姿・紹介★★

○授業記録の取り方

- ・時系列で
- ・板書記録と関連付けて
- ・協議の視点から観点を決めて

○1分で自分の考えをまとめて伝える⇒完璧!